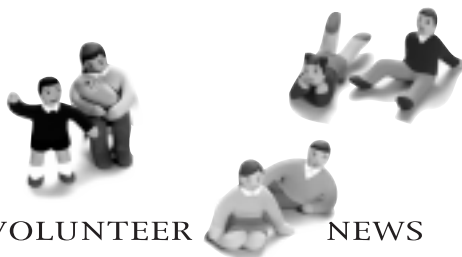


市民活動・ボランティア ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



2004年

6月号

平成16年5月25日発行
通巻66号

NPO (ボランティア・市民活動団体等) からの協働事業提案を募集します!

NPOが自ら企画して県に提案し、相互に議論・検討し、協働できる事業の構築・推進する試行事業(3件程度採用予定)の募集を行います。この試行を通じて、NPOと行政とが適切な役割分担のもと、協働して公共的サービスを提供していく、「市民発」の仕組みの構築を行い、真のパートナーシップによる協働を推進しようとするものです。

●提案事業を募集／(1) 三重県との「協働事業提案」であること。

(2) 「協働事業提案」とは、NPOと県が協働で取り組む事業の内容について、NPOが企画した協働事業を行政に提案するものです。

(3) NPOからの協働事業提案は、NPOと県が協働で取り組む事業についての提案とします。

(4) 協働事業提案のテーマは自由です。

●受付期間／6月1日(金)～7月9日(金)(郵送の場合当日消印有効)

「協働事業提案書」及び関係書類を、下記へ直接、または郵送、Fax、E-mailで提出してください。(提案書様式は、アスト3階NPO室他、各県民局生活環境森林部にあります。なお、ホームページからもダウンロードが可能です)

●説明会／6月7日(月)

●応募資格／以下の要件に該当する団体であることが必要です。

(1) 三重県内で活動しているNPOであること。NPO法人であるか否かは問いません。

(2) 活動分野は特に限定しませんが、宗教活動や政治活動を主たる活動目的とした団体ではないこと、また、特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこととします。

●企画の審査／NPOから提出された協働事業提案企画書と公開のプレゼンテーションにより、選考委員会が審査します。

●備考／この協働事業提案募集事業は、平成15年度にひきつづいて平成16年度の2カ年実施するものです。

●問い合わせ先・提案書提出先／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階三重県生活部NPO室
Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknp@pref.mie.jp
ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknp@pref.mie.jp

NPO室のホームページ

<http://www1.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)／オールウェイズ(津センターバース1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)／(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)／市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)／南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)／特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)／鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)／特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)／四日市市民活動センター(四日市市蔵4-17)／寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)／ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)／みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)／上野市中央公民館／上野市立図書館／上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀(上野市事務所)／上野青年会議所／名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森(名張市上三谷268-1)／明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)／松阪大学(松阪市久保町1846)／松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)／名張市市民活動センター(名張市夏見2812)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)／三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／高宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町村役場

アスト de プロデューサー 7 脇田智恵

5月はフェアトレード月間で、県内外で関連イベントが開催されました。ここアスト津3階においても8日、フェアトレード喫茶「抱(はぐみ)」の石井さんを囲み、小さなワークショップを開きました。タイの少数民族の方たちの暮らしを通して問いかける、現在の私たちの生活の質。「公正な貿易」の意味することは、途上国の人々の支援に限らず、私たち自身の生活意識を変えること、そして生き方を見つめ直すことなのですね。

6月19(土)・20日(日)は、「国際貢献フェスタみえ2004」を同じくアスト津3階で開催します。環境、人権、貧困、教育など、さまざまな切り口で国際貢献に汗を流す県内の団体の活動紹介や異文化理解ワークショップなど、内容も盛りだくさん。この機会に一人でも多くの方が、海の向こうの人達の暮らしに関心を持ち、彼らの笑顔を想像し、そして地球市民として自分に何が出来るのか考える、貴重なはじめの一歩を踏み出すきっかけづくりになればと願っています。

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 12 野村希代

三重県には防災ボランティアコーディネーター養成協議会という組織があります。この協議会は、日ごろからの防災啓発活動や災害時のボランティアコーディネートに取り組む人材を養成している協議会で、私もそのメンバーの一人です。年4～5回の集中講座以外にも、有志のメンバーでゼミ活動などを行っています。

ゼミ活動の中で、私はボランティアセンターの運営について学ぶゼミに参加しています。そのゼミの活動として、コーディネーターや災害時のボランティアセンターがどんなものか伝えられるようなビデオを作ろうという話が持ち上がってから約1年半、ようやく完成しました。

タイトルは『地上の勇気』。一人の青年が大規模な地震が起こり多くの被災者が出ていることをテレビで知り、ボランティアとして被災地へ行くところから始まります。活動の中で出会う人たちからいろいろな気づき生まれ、やがてボランティアコーディネーターになっていく姿を描いています。

今後は、このビデオをもとに、防災について地域の住民を対象とした啓発方法を考えていこうと話しています。興味のある方、各県民局が当ボランティアセンターで貸出をしますのでぜひ一度ご覧ください。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人) 申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1) 名称(2) 代表者氏名(3) 法人事務所の所在地

(1) あかいほ(2) 谷川喜代嗣(3) 名張市滝の原3279番地/(1) e+マネジメント・サポート(2) 小島仁三郎(3) 名張市さつき台2番町185番地の1/(1) まごころネットワーク・囲炉裏(2) 堀端克久(3) 北牟婁郡海山町大字相賀480番地55/(1) みえ青少年先導指導会(2) 笠井紀彦(3) 鈴鹿市国分寺町字北廣神戸458番地/(1) タランガ フレンドシップ グループ(2) クマラ アーナンダ(3) 四日市市河原田町2340番地/(1) まなびの広場(2) 岡島久美子(3) 度会郡二見町大字松下1349番地164 (平成16年4月17日～平成16年5月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 四日市清港会(16年4月1日)/特定非営利活動法人 市民ネットワークすずかのぶどう(16年4月1日)/特定非営利活動法人 三重スローライフ協会(16年4月26日)/特定非営利活動法人 パスネット津(16年5月6日) (平成16年4月17日～平成16年5月14日届出分)

イベントスケジュール

第④回エコツーリズムセミナー⑩尾鷲

●とき/5月30日(日) AM10:00～PM3:00
 ●ところ/尾鷲市中央公民館(JR尾鷲駅下車徒歩10分)
 ●参加費/3000円(会場費と茶菓子代含む)
 ●内容/今回は地域の宝探し。講師は日本各地でエコツーリズムを用いて地域の課題解決に取り組んできたNPO法人日本エコツーリズム研究会 山田桂一郎さんです。
 ●申込方法/できるだけ事前申込。
 ●申込・問い合わせ先/東紀州エコツーリズム研究会(会長:永井崇郁) Tel.090-3578-7589
 E-mail tour_de_kumano@yahoo.co.jp
 ホームページ http://eco-kuma.hp.infoseek.co.jp/

協働コーディネーター講座ー協働の現場では？

●とき/6月4日(金) PM7:00～PM9:30
 ●ところ/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター会議室(桑名市中央町1-8 東和ビル2階)
 ●参加費/500円(会場費・資料作成費・広報費等)
 ●内容/三重県と市民活動団体とで昨年実施した「協働事業」について、三重県NPO室が年度末に「協働のふりかえり会議」を行いました。この会議に参加したコーディネーターの方たち出したコメントを精読し、具体的な協働の現場で、どのような視点で進めていけば協働の質を高められるのか、ワークショップをしながら考えます。講師は三重県NPO室の若林千枝子さんと森下道大さんです。
 ●募集人数/15人程度
 ●申込・問い合わせ先/511-0068 桑名市中央町1-8 東和ビル2階 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター Tel.0594-27-2700 (平日PM1:00～PM3:00)

■ あい³の会3周年記念講演会

ストップ・いつか来た道ー地球人として真の平和を考える

●とき/6月5日(土) 講演会PM1:30～PM3:30
 懇話会PM4:00～PM5:00
 ●ところ/三重県教育文化会館5階大会議室
 ●参加費/300円(懇話会は200円)
 ●内容/あい³の会は「アイ、自分を磨き育てる」、愛(平和で安心して生きられる社会と人々への愛)、藍(青は藍よりいれて藍より青し、のように先人を越して成長していく)という意味を持った学習グループ。今回は、『父が語った「悪魔の731部隊」』の著者、神谷則明さんに「長き沈黙731部隊」をテーマにお話いただきます。
 ●申込・問い合わせ先/菅野照代 Tel.&059-228-1722

明日の教育のために……ハートバランス研究所

●とき/6月9、23日(水)PM7:00 ●参加費/無料
 ●ところ/名張商工会議所会議所アスパ
 ●内容/人としての『モラル』『ルール』を、共に学び高めてゆくため、毎月2回、無料勉強会を開催。9日は『友だちの作り方 ～青少年の不応行動を問う～』、23日は『本当に求められる組織論』がテーマです。
 ●申込・問い合わせ先/名張市桔梗が丘1番町6-8特定非営利活動法人ハートバランス研究所(担当:西川) Tel.0595-67-1717 Fax.0595-67-1718 ホームページ http://www.heartbalance.jp



憲法と教育問題学習会

「教育基本法と憲法9条」改悪への徹底批判！

●とき/6月11日(金) PM6:00開場 PM6:30開始
 ●ところ/みえ県民交流センター第3・4ミーティングルーム(津市羽所町700 アスト津3階) ●協力金/500円
 ●内容/2003年3月20日、文科省の中央教育審議会が「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画のあり方について」(答申)を出しました。「国を愛する心」「公共の精神」などの言葉が目立つこの答申が目指すところは国のために死ぬ人作り、戦争ができる国造りに他ありません。憲法がハードウェアなら教育基本法はソフトウェアと言うべきものです。子どもは「お国のために」あるわけではありません。教育基本法を改悪させてはなりません。講師は子どもと教科書全国ネット21事務局長、依義文さんです。
 ●主催・申込・問い合わせ先/戦争をしない・戦争協力もしない三重ネットワーク(担当:富田) Tel.090-8549-8923
 E-mail masashi@mtu.ne.jp

未来塾2004(前期) 市民社会の発展を目指して

第2回目「市民の平和の船が世界を動かす」

●とき/6月11日(金) PM6:30～PM9:00
 ●ところ/名古屋国際センター4階第3研修室(名古屋市中村区那古野1-47)
 ●参加費/全回通し 一般2000円、学生・会員1000円 各回参加はそれぞれ半額(講座資料費含む) ●募集人数/20人
 ●内容/ピースボートは世界中のNGO(市民グループ)や学生たち、子どもたちと交流しながら、国と国の利害関係とはちがったつながりを創っていくことを目的としています。自分の五感を信じて平和な世界をつくり続けようとするピースボートとは何なのか。ピースボート体験者、ピースボート共同代表の吉岡達也さん、名古屋事務所スタッフの鬼頭文さんと語ることで、何かが見えてくるはずですよ。
 ●申込方法/事前に、電話、E-mailなどで下記まで。
 ●主催・申込・問い合わせ先/462-0822 名古屋市北区東大曾根町本通3-676 (特活) 地域国際活動研究センター(CDIC)(担当:杉本・早川) Tel.&Fax.052-917-4590
 E-mail ccidi@nifty.com
 ホームページ http://homepage3.nifty.com/ccidi/

天野鎮雄さんの講演会

●とき/6月12日(土) AM11:00～PM12:30
 ●ところ/津市市民活動センター市民オープンステージ(津市大門7-15 津センターパレス2階)
 ●内容/三重県ボランティア連絡協議会では、ボランティア活動の活性化のために研修会や講演会を開催しています。今回、平成16年度三重県ボランティア連絡協議会福祉部研修会としてラジオやテレビで活躍中の天野鎮雄さんの講演会を開催します。テーマは「ほほへん、ふへん、なるほどで生きる会話」。アマチンのニックネームでお馴染みの天野さんは、財団法人愛知難病救済基金理事長として難病の救済活動をしてられます。なお講演終了後、午後からは県ボランティア連絡協議会の活動発表となります。
 ●問い合わせ/三重県ボランティアセンター(担当:野村) Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635
 ●主催/三重県ボランティア連絡協議会(福祉部会)

国際貢献フェスタinみえ2004

～みつめよう世界のこころ みつけよう私のできること～

●とき/6月19、20日(土、日)
 ●ところ/アスト津(津市羽所町700)

●内容／世界のことや国際貢献活動についてみなさんに紹介し、一緒に考えるイベントです。岡田卓也イオン名誉会長相談役と野呂知事との対談、地域発・ODAタウンミーティング、NPO、NGO等のブース出展・活動紹介、相談コーナー、ワークショップ、料理教室、国際ファッションショーと民族衣装の試着、私の宝物展(外国版)、外国人とのフリートークなど多彩なプログラムを行います。

【当日ボランティア募集】

会場設営やイベント運営など。参加はどちらか1日でも結構です。

【私の宝物展(外国版) 出展者募集】

お持ちの外国の宝物を、思い出やエピソードとともに展示・紹介して自慢してみませんか?どちらか1日でも結構です。

【収集物のお知らせ】

古切手、使用済みプリペイドカード、書き損じハガキ、外国コインなどは、NPO・NGO・国連機関などを通じて、医薬品や食料といった支援品になります。フェスタ当日、お持ちください。

●ボランティア・出展者募集締切／6月11日(金)

●ボランティア・出展者申込方法／ホームページにある申込用紙を下記まで送付。

●申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700アスト津3階三重県生活部国際室 国際貢献フェスタinみえ2004実行委員会事務局 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984

E-mail kokusai@pref.mie.jp

ホームページ www.pref.mie.jp/kokusai/hp

アイランドのセットダンスのワークショップ

●とき／6月19日(土) PM1:00～PM5:00(懇談会もあります)

●ところ／津市市民活動センター2F市民オープンステージ

(津市大門7-15 津センターパレス2階)

●内容／映画『タイタニック』の船底でのダンスシーンなどで知られるアイリッシュダンスを踊ってみませんか?セットダンスとは、男女がペアになってワルツのように手を取り、8人(4ペア)1組で踊る、アイランドの伝統ダンスのひとつです。講師はCCEジャパンの小山民子さんと舟木浩さん。講師をお迎えしてのワークショップは数ヶ月に一度ですので、ぜひこの機会にご参加ください!!初心者大歓迎です。

●参加費／1000円 ●募集人数／25人(要予約)

●申込方法／電話、E-mailで、氏名、在住地域、連絡先を下記まで。

●主催・申込・問い合わせ先／三重アイランド交流協会トリニティ(事務局長:藤田みのり) Tel.090-9809-8240

E-mail info@mietrinity.com

ホームページ http://mietrinity.com/

第28回全国パーキンソン病友の会定期総会・全国大会(福岡大会)

●とき／6月19、20日(土、日)

●ところ／博多シティホテル・福岡国際会議場

●内容／19日は役員会、全国総会、懇親会。20日は支部長会議、若年性会議、3分科。詳細はお問い合わせください。

●問い合わせ先／全国パーキンソン病友の会 Tel.03-3560-3355 Fax.03-3560-3356 E-mail jpda@jpda-net.org

川づくり会議みえ第10回勉強会「柳川掘割物語」鑑賞会

●とき／6月27日(日) 映画鑑賞PM1:00～PM4:00

意見交換PM4:00～PM5:00

●ところ／みえ市民活動センター(津市羽所町700 アスト津3階)

●参加費／500円(茶菓子代)

●内容／ドブ川になって埋め立てられそうになった福岡県柳川市の掘割をたったひとりで立ち上がり市民を巻き込んで蘇らせた、ただふつうの行政マンの血と汗と涙の記録を鑑賞し、「ほんとうの川づくり、まちづくり」をみんなで考え、意見を交換しましょう。

●応募締切／6月20日(日) 要事前申込

●申込・問い合わせ先／川づくり会議みえ(久世) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

【四日市まんなか子ども劇場から】

暮らしにガガせない電気を知る

浜岡原子力発電所見学と海鮮なぶら市場(日帰りバスツアー)

●とき／7月10日(土) AM7:45集合～PM6:30解散

●ところ／近鉄四日市駅西口集合

●参加費／大人2500円、子ども2000円(会員は500円割引)

●内容／知っているようで知らないことが多い身近な電気。バスでは電気のクイズなど楽しみながら知ることができます。夏休みの宿題の下準備にもどうぞ。

キッズ&アーツ2004・夏 鑑賞ツアー

「トウインクル トウインクル リトル フィッシュ」

●とき／7月29日(木) PM7:00～、30日(金) AM11:00～

●ところ／三重県総合文化センター

●参加費／大人4000円、子ども(3～12才)3500円(S席と往復バス)

●内容／オーストラリアのウインドミル・パフォーミング・アーツが初来日。大型人形劇と一緒に見よう。

文化芸術体験「爆笑舞台 ほのほのおじさんズ」

●とき／8月3日(火) PM7:00

●ところ／四日市市文化会館第2ホール

●参加費(会員制)／入会金500円 月会費1300円

●内容／子育て支援・子ども体験の四日市まんなか子ども劇場から夏のイベント。パントマイムとミュージシャンの素敵なアンサンブルです。対象は小学生以上。乳幼児は有料の保育があります。

●申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670

E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp

みえ青少年ボランティア講座

●とき／7月24日(土) AM11:00～25日(日) PM3:00

●ところ／大宮町サイクリングターミナル(度会郡大宮町滝原)

●参加費／5000円(1泊2日、3食) ●募集人数／20人

●内容／野外活動を楽しみながら、ワークショップ形式で、世界の子どもたちのことを考え、実践プログラムを組み立てます。

●応募締切／7月10日(土) 定員になり次第締切

●申込方法／Fax、ハガキ、E-mailにて、住所、氏名、電話番号、学校名または勤務先を明記して下記まで。

●申込・問い合わせ先／(担当:樋口敦俊) 513-0041 鈴鹿市長太新町4-3-18 Tel.&Fax.0593-85-1933

E-mail higuchi1@mecha.ne.jp

●主催／特定非営利活動法人 みえ青少年ボランティアネットワーク

ネットワークのよびかけ

第33回佐佐木信綱顕彰歌会 献詠短歌募集

12月4日(土)に佐佐木信綱記念館で開催される佐佐木信綱顕彰歌会の献詠短歌を募集します。部門は一般と小・中・高校生の部。

●応募期間／7月1日(木)～8月31日(火)ただし、小・中・高校生は9月11日(土)まで。

●応募要項／未発表自作短歌 1人1首。用紙は自由。献詠作品、住所、氏名、電話番号を記入。難しい漢字にはフリガナをつけること。

●応募方法／応募料1000円(詠草集代を含む)の郵便為替と作品を同封して郵送。

●応募・問い合わせ先／513-0012 鈴鹿市石薬師町1707-3

佐佐木信綱記念館顕彰歌会係 Tel.0593-74-3140

●主催／佐佐木信綱顕彰会

フリーマーケット情報

「フリーマーケットinふれあい四の市」

●とき／6月4日(金)、14日(月)、24日(木) AM9:00～PM4:00

●ところ／四日市一番街商店街おもちゃのペンギン前

「フリーマーケットinシティパーク」

●とき／6月6日(日) AM10:00～PM4:00(雨天中止・毎週第1日曜開催)

●ところ／三重県市民公園(四日市市)

「フリーマーケットin四日市ドーム」

●とき／6月13日(日) AM10:00～PM4:00 ●ところ／四日市ドーム

「フリーマーケットin日永カヨー」

●とき／6月27日(日) AM9:00～PM4:00(雨天中止・毎週第4日曜開催)

●ところ／日永カヨー敷地内サンシネスコート

……詳細は下記まで。(業務時間 平日AM10:00～PM5:00)

●問い合わせ先／510-0072 四日市市東日野町1288-73 特定非営利活動法人MFA(担当:中西) Tel.0593-20-0133 Fax.0593-20-0134

E-mail webmaster@mfa.gr.jp ホームページ http://www.mfa.gr.jp/

助成金 ニュース

青少年育成室から

●受付締切／6月21日(月)消印有効(両募集とも)

【「青少年居場所づくり」二次募集】

●補助の対象となる団体／地域で青少年を育成し居場所づくりに取り組む個人や団体で組織する委員会(青少年支援委員会)。

●補助の対象となる事業の要件・内容の概要／(1)「青少年の居場所」づくり(必須要件)・・・活動拠点となる「青少年の居場所」を地域の公民館、空店舗等につくるものとします。

(2)「青少年委員会」の設置(必須要件)・・・青少年で組織され、居場所の運営及び各種活動を企画するための「青少年委員会」を設置するものとします。

(3)コーディネーターの設置(必須要件)・・・青少年委員会をサポートするコーディネーターを設置するものとします。

(4)居場所で企画・運営する活動(地域や施設の実情に応じて)・・・「青少年委員会」で企画したサークル活動・体験活動とします。

●補助金額／対象とする経費のうち、上限20万円。(5団体程度)

【平成16年度青少年健全育成協働・連携促進事業(委託団体)二次募集】

●対象となる団体／青少年健全育成を目的とし、特定非営利活動法人・ボランティア団体・地域住民団体・青少年団体など、地域において活動する県内の団体(以下「活動団体」という)で、5名以上の会員によって構成されていること。また、次の条件を満たしていること。

(1)事業対象地域が2以上の市町村にまたがること。

(2)取り組み内容または手法が先駆的であり、広く普及することにより地域社会の青少年の健全育成に大きな効果が期待できるものであること。

(3)プレゼンテーション(7月4日(日)時間未定)に出席してください。

●対象となる事業(三重県の取り組み内容)／1、若者に関する有用な連携や情報伝達システムの構築。2、青少年や子育て中の親の居場所の整備。3、豊かな体験と様々な交流機会の提供。4、子育て・家庭教育への支援体制の整備。5、相談体制の充実。6、教員の配置改善と資質向上。7、社会環境の整備と非行防止

●委託金額／対象とする経費のうち、上限100万円。(1団体予定)

... ..

●応募方法／申請書はホームページよりダウンロードするか、下記へ請求。

●問い合わせ先／生活部青少年育成室 514-0009 津市羽所町700

番地 アスト津3階 Tel.059-222-5986 Fax.059-222-5979

E-mail seiiku@pref.mie.jp ホームページ <http://www.pref.mie.jp/SEIKU/gyousei/ibasyo/index.htm>

緑と水の森林基金

●受付締切／6月15日(火)必着

●助成の対象となる団体／地方公共団体(県を除く)、法人、その他団体、個人。

●助成の対象となる活動／1、普及啓発森林。2、調査研究。3、活動基盤の整備。4、国際交流。

●助成の額／限度は団体200万円(特別な事業は300万円)、個人100万円。

●応募方法／申請書はホームページからダウンロードすることもできます。

●問い合わせ先／(社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」係

102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451

Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

緑の募金公募

●受付締切／6月16日(水)

●助成の対象となる活動／【1、国内緑化事業関係】 国内で行う次のいずれかに該当する事業。

(1)2つ以上の都道府県にわたる広域的な見地から行う森林の整備(植栽、下刈、間伐などの事業)、緑化推進を目的とするイベント。(2)居住する都道府県以外で行う森林整備。(3)川上と川下が連携して行う森林整備。(4)その他、上記に準ずる森林整備及び緑化推進を目的とするイベントなど。

【2、国際緑化事業関係】 海外で行う次のいずれかに該当する事業。

(1)砂漠防止と熱帯林再生のための造林。(2)土砂流出防止・水源かん養・薪炭林造成などの森林保全管理。(3)公園・学校の植樹などの緑化。(4)苗畑整備や育苗。(5)山火事防止などの森林パトロール、被害調査などの森林保全管理。(6)その他、上記事業に付帯するセミナーや給水施設整備など。

●助成の額／一事業につき300万円を限度とする。

●問い合わせ先／【国内緑化事業関係】(社)国土緑化推進機構「緑の募金」係 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

Tel.03-3262-8451 Fax.03-3264-3974

ホームページ <http://www.green.or.jp>

【国際緑化事業関係】(財)国際緑化推進センター「緑の募金」国際緑化公募

係 112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル

Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

(社福)NHK厚生文化事業団

地域福祉を応援する第16回「わかば基金」

●受付締切／6月25日(金)必着

●助成の対象となる団体／地域で活発な福祉活動を進めているグループ。法人は助成対象外ですが、NPO法人は申請できます。

●助成の額／1グループにつき上限70万円。約15グループ支援予定。

●応募方法／申込書は下記より電話にて取り寄せるか、ホームページからダウンロード。申請は郵送のみ受付します。Faxでは受付できません。

●申込・問い合わせ先／(社福)NHK厚生文化事業団 150-0047 東京都渋谷区神山町4-14第三共同ビル6階 Tel.03-3481-7855

Fax.03-3481-7674 ホームページ <http://www.npwo.or.jp>

(社福)NHK厚生文化事業団中部支局 461-8725 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送局内 Tel.&Fax.052-952-7150

野村国際文化財団 芸術文化助成

●受付締切／6月25日(金)必着

●助成の対象となる活動／【1、美術】 既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するもの。その他、美術教育に係わる催事。

【2、音楽・オペラなど】 オーケストラ、室内楽、独奏、合唱などの活動で教育プログラムを重視した催事助成。音楽家の海外留学または研修、音楽普及と向上を目的とした国際的活動。

【3、芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成】

●助成の対象となる団体・個人／助成対象となる活動を行う団体および、個人。外国人の場合、日本国内における受入れ責任者(団体)が代わって申請。

●対象事業の期間／下半期(平成16年10月～平成17年3月)の活動。上半期(4月～9月)の活動は12月に募集締切があります。

●応募方法／申請書はホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は郵便、Faxなどで申請書の種類(美術団体A・美術個人a・音楽団体B・音楽個人b)、送付先住所、氏名および連絡先電話、Fax番号、E-mailアドレスを記入のうえ、下記まで請求。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／(財)野村国際文化財団事務局 103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522

ホームページ <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/>

丸紅基金社会福祉助成事業

●受付締切／6月30日(水)消印有効

●助成の対象となる団体／わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

●助成の額／総額1億円をめぐり50件以上。1件あたり原則、上限200万円。

●応募方法／所定の申込用紙、添付書類を送付。申込用紙はホームページからダウンロードするか、郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、Fax番号を明記し、ハガキまたはFax、E-mailにて下記まで請求。

●問い合わせ先／社会福祉法人丸紅基金 108-0014 東京都港区芝5-2-0丸紅東京本社三田別館 Tel.03-5446-2474・2475

Fax.03-5446-2476 E-mail mkikin@marubeni.com

ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/fund.htm>

国際交流基金日米センター「市民交流」プログラム

●受付締切／7月1日(木)必着

(原則として、平成16年10月～平成17年3月に開始のプロジェクト対象) ※17年4月以降に開始されるプロジェクトを対象とする締切は12月1日

●助成の対象となる団体／日米いずれかにある非営利団体。日本の場合、法人格のない団体(任意団体)でも申請資格有り。

●助成の対象となる活動／日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援します。

●助成の額／年額数百万円程度。

●応募方法／ガイドライン及び申請書は下記へ申込んでください。また正式な応募に先立ち、プロジェクトの企画を簡単なコンセプトペーパーにまとめ、できるかぎり申請締切の2カ月前までに日米センターへご提出いただくことをお願いしています。このコンセプトペーパーに基づき事前相談を行います。

●問い合わせ先／独立行政法人国際交流基金日米センター

107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階

Tel.03-5562-3543 Fax.03-5562-3504

ユニバーサル財団 市民活動助成

●受付締切／7月31日(土)必着

●助成の対象となる団体／1、高齢者が活動する市民活動団体。2、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくりなど、高齢者を対象とする市民活動を行う団体。
●助成の対象となる活動／豊かで活力ある長寿社会の実現をめざして、一人ひとりが生き生きと充実した人生を送ることができる新しい世紀の社会づくりやコミュニティ再構築等の活動。

●助成の額／1件当り上限100万円。

●応募方法／申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。申請は紛失などのトラブルを避けるため、なるべく書留や宅配便で送付。

●問い合わせ先／ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル 5階 Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008
ホームページ <http://www.univers.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

まちのファンクラブ

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑名市

まちのファンクラブの一年が過ぎました。

山・森・丘・林・池・里・川・海・まち・港。三重県の北の端、名古屋から東名阪高速道路を西にわずか15分の桑名・員弁地域は、これらがすべてあります。起伏に富んだ豊かな自然緑に包まれ、歴史と伝統に育まれたこの地域の「まちと人」の魅力を知りたい…。そこで、できるだけ広く、多くの人たちが参加できる方法として「人と人のつながりづくり」と「まちを知る」ために、毎月一回、桑名のいろんなまちを訪れ、そこでまちづくりをしている方々と交流会を開こうというのが、まちのファンクラブでした。

2003年1月17日の第一回の設立準備会から都合4回のワークショップを行い、基本的な考え方を整理した上で、4月29日に多度町中央公民館で設立総会を行いました。早いもので、それからもう一年が過ぎました。2003年6月からはじめた交流会は、この4月までに、桑名市、いなべ市(大安町、員弁町)、東員町、多度町、長島町、木曽岬町を巡り、合計11回行い、参加者はのべ300人ほどにもなりました。これって自分たちのことですが、すごい!と思います。

テーマも、『コミュニティスクール～活きた人材バンク構築の一アイデアとして』、『桑名・員弁生活創造圏 桑員エコリーグとの意見交換会』、『理想の生活圏とは?まちファン夢を語る集い』、『ナマステ!インドの食と文化の紹介』、『手づくり仲間との交流会 & 一品持ち寄りパーティー!』、『長島町に集合!!ざswi-go塾の仲間との交流会』、『歩いて暮らせるまちづくり、くわなワンディウォーク実行委員会との交流会』、『新春!多度まちづくり談議』、『忍苦ごっこを創ろう!～まちづくりは 人づくり～(特)くわな子供ネットさんとの交流会』、『NPOや市民活動の今後について考え、意見交換しよう!三重県生活部NPOチームとの交流会』、『春爛漫、桜満開の木曽岬で』と、多様というか、ばらばらというか。とにかくおいしい交流会の日々でした。

先日、まちのファンクラブの一年をふりかえる会議をしました。いなべ市の北勢町と藤原町を訪ねることができなかったのはとても残念でしたけれど、まちづくりに取り組んでいるたくさんの方たちと出会い、多くのまちを実際に訪れて見てきた一年でした。さて、二年目、どうやってまちを楽しんでいこうかな?6月26日には総会を開いて、みんなでわいわいやりようと考えています。これらの交流会の様子はホームページに掲載してあります。是非、のぞいてみてください。興味のある方はご連絡ください。

鈴鹿市

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう

鈴鹿市白子駅前18-15

Tel.0593-86-0767

すずかのぶどうは事務所を持たない市民活動グループに事務所として団体支援を行っています。現在、ユニセフ基金支援の「すいれん鈴鹿」、環境問題を研究している「地球クラブ」、ハートフル・アクセス(バリアフリーアドバイザーの会)の3グループが事務所として使っています。今回、ハートフル・アクセスの活動の一端を紹介します。

・総会・ユニバーサルデザイン(UD)のトイレセミナー報告
・ユニバーサルデザイン(バリアフリー)アドバイザー養成講座の受講生募集

<ユニバーサルデザインのトイレセミナー>

5月8日(土) トイレに対する見方が、かわりました。

普段、なんとなく使っている公共トイレの側に、最近よく見かけるようになったユニバーサルトイレ。これを、どんな人がどんな風に使っているのか、知っていますか?

公共のユニバーサルトイレはどのくらい必要とされていて、今以上にどんな機能が望まれているのでしょうか。ユニバーサルトイレについて研究を続けている、日本トイレ協会研究員 遠藤護さんから、豊富なデータをもとにお話をし、頂きました。

障害を持つ方は、一人ひとり障害の状態や程度が異なります。より細かく障害別に配慮することが求められるようになってきていますが、現状はスペースや資金の面などで制約があり、思い通りの対応は困難です。そこで、最小限のスペースで検証を行ったVTRを



もとに、より多くの方が使えるUDのトイレを紹介いただきました。

省スペースのトイレ内行動検証VTR紹介
障害をお持ちの方に協力頂いたトイレ内行動検証をビデオで紹介。身体状況や介助の状況によって変わるスペースの必要性の説明、バリアフリートイレのプランと必要設備の提案。

それぞれが全く違った使い方をしている状況を実際にみて、はじめて障害を持つ人の気持ちにふれたような気がしました。

2004年度 ユニバーサルデザイン(バリアフリー)アドバイザー養成講座 受講生募集(北勢地区)

●受講対象者／地域でまちづくりを進めようとしている方などで、ユニバーサルデザインおよびバリアフリーのまちづくりに関心のある方。

●募集人員／約40人 県市町村職員等を含みます。

●開催期間／7月3日(土)～9月4日(土)の各土曜日13:00～17:00 (ただし、7月31日、8月14日を除く計8日間)

●開催場所／ジェフリーすずか研修室(鈴鹿市男女共同参画センター)

●申込方法／案内パンフ裏面の受講申込書に記入し、6月15日までに、郵送又はFaxにて下記までお申込みください。なお、郵送の場合は6月15日消印有効です。

●申込・お問い合わせ／ハートフル・アクセス事務所 鈴鹿市白子駅前 18の15 NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう内 Tel.&Fax.0593-87-0767

E-mail heartful-access@budou.gr.jp

ホームページ <http://www.budou.gr.jp/heartful-access/>

●主催／三重県、ハートフル・アクセス(鈴鹿・亀山・桶・関地区バリアフリーアドバイザーの会)

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター

7月、民営開設予定！

**決定！ いせ市民活動センターの「指定管理者」
が選定されました！**

伊勢市民活動センター(仮称)は、7月より、指定管理者による民間管理運営に移行されます。4月に公募、公開選考会が行われ、複数の応募団体から、指定管理者が選定されました。

選定の
ポイントは？

今回の公募で、応募した指定管理者候補は、2団体。
それぞれの応援団が見守る中、選定委員へのプレゼンテーションをおこないました。

選定委員会としては、どちらの団体も「中間支援団体」ではありませんでしたが、伊勢に根ざしていて熱意があり、それぞれ特色や評価すべき点があって迷われたということです。最終的には点数制で、運営の計画が、より具体的だったということが評価され「NPO法人いせコンビネット」が選定されました。

選定から
決定まで

選定委員会で選定

→5月議会にて可決…これで決定

→協定書を交わして

ようやく公式に決定、発表！

→…と思ったら、もはや直前！

7月1日から新スタートです。

➡ 選定された「いせコンビニネット」さんに
一言「これからの抱負」をいただきました！

先ずは受託して嬉しく思っています、半年間にわたる準備会での意見をどの様に反映させるか…その責務を考えると喜び半分、緊張感と責任が半分といった気分です。また、コンビニネットのメンバーを中心として色々な方のお力をお借りしながらより良い会館運営を心がけていきたいです。(いせコンビニネット理事長 伊東さん)

いせ市民活動センターは、指定管理者だけでなく、行政、利用する市民などによる運営委員会を設け、センター運営の知恵を出しあっていく予定です。伊勢市、および周辺地域の市民活動実践者のみなさん、せいぜい利用・協力をして、いいセンターとしていこうではありませんか！

▶▶▶ **上野市** ▶▶▶

W.T.Aまじくリセント・情報

読むの大切さ —
 読書は、
 心を豊かにする。
 読書は、
 心を豊かにする。
 読書は、
 心を豊かにする。

A hand-drawn diagram illustrating a sequence or set of items. Five overlapping rectangular cards are shown, each labeled with "PTA" followed by a letter from A to E. The cards are arranged in a fan-like pattern, with PTA at the top and PTE at the bottom. To the right of the cards, there are two vertical lines of handwritten Japanese text:

- Line 1: アニハ また…
- Line 2: P-A会場並に…

同じ金額を貸金う
るもの。これは

借入金

貸付金

借入金

Illustration of a girl with pigtails looking at a bookshelf. The bookshelf has three books labeled '大分県', '大分県', and '大分県'.

ボランテア市民活動相談員ミニ交流会
ふらっと会議

当センターと社協のボウ・シア・コアは、
伊賀県民局のNPO担当との三者談話
を行います。今日は 6月22日(火)の
18:30～ 多摩市市民活動センター
で、三者の話し合いと相談。ご
参加したいとは、何となくおき
ま。お申し込みは、お電話(0426-22-1111)で。

中間支援センター関係者ネットワーク交流

第6回 中国支援センターに何かある
皆々、何のなにか情報交換し
今日26日になります。16日頃に
お話しが出て、とても勉強になります。
我々の見えていないところを
より日本の活動にメリハリを
出さないと悪いものだ。新井の
毎週来て下さる方々。どうも
下さい。当日、お会いできるまで
14:12まで⑤ 16:00までは
当センターへ。
6月26日(土) 13:30～
アストホール。

Tel: 0986-24-7612-090-3302-0629
Fax: 0595-22-0072
E-mail: naqia@ezweb.ne.jp

1楼：生薬 2F

No. 25

6月になりました。今年も太陽がアツいので、カサガサしいのが少し嫌です。暑くないでいい。でも、やはりシミやそばかすが増えました。園の景色は田植えがまだあり、青々とした感じがたまらなく好きです。一面緑のジョーダン村は、夏もまた美しいですね。お花畑のじゅけりめ時期も近づいてきました。今年も半分くらいは楽しみたいと思います。

伊賀能・情報誌「伊賀びと」No.3の原稿募集。

12月1日にNo.1、2月1日にNo.2を出します。たぶん記事
を書く予定です。毎月10日までに翌月の16日以降の情報を
お寄せ下さい。できれば印刷料の支払いもOK!! 11月2日
は無料のセミナー。お問い合わせ下さい。

伊賀県民会 2004伊賀公选委員会事務局内
「伊賀市月夜」の情熱 point to you 伊賀公选に挑戦！
TEL: 0595-24-8192 Fax: 0595-24-8197
E-MAIL: hatoro1@pc5.nie.jp

ふたつは録音保存協会
ついでに、ついでに、ついでに

6月20日(日) 10:00~16:00
上野地下鉄222の
WTA 1540119-2号倉庫「赤い」で。
鉄道メモリアル親子4人。いぐは。
鉄道博物館の101号尾尾ナゾで
不定に天宮。赤い。
7/12 出店店 (300円) も 葉集!!
次回は9/19日 赤い。

がなばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。磯部町で、身体的ハンディを持った方や子育ての支援をしている前田秋子さんが紹介してくれたのは、三重県が開催した男女共同参画セミナーで共に学んだ伊勢直世さんです。

第二のふるさとを提供「五ヶ所湾ふるさとの会」

……伊勢さんは南勢町生まれですか？

私自身は生まれも育ちも神戸です。夫は徳島県阿南市にある離島の出身。結婚してからスペインで暮らしていたのですが、子どもの進学を機に帰国し、名古屋に住んでいました。ただ、私も夫も田舎で暮らしたいと思っていましたし、夫が仕事の潜水土木で伊勢志摩に来ることが多かったので、21年前に越してきました。南勢町は夫が以前、仕事で来て「良い所だよ」と話していたこと、それに暖かくて住みやすいのが気に入りました。

……何代も南勢町住んでいるという方が多いところですから、溶け込みにくかったのでは？

子どもたちも幼かったので、早く地域に溶け込みたいと思っていました。そんな時に、「五ヶ所湾ふるさとの会（以下、ふるさとの会と略）を手伝わないか？この会には南勢町各地の人が参加しているから、溶け込みやすいよ」と事務局の中島さんに誘われたんです。会を立ち上げたばかりで、人手が必要だったみたいですよ。

……どんな活動をしている会なのですか？

みかんの成木1本のオーナーになってもらう、みかんの木のオーナー制度です。もちろん、みかん狩りに来られた会員さんには、ご自分の木になったみかんを全てお持ち帰りいただけます。昨年度は60%を超える会員さんにご来園いただきました。それ以外に南勢町の特産品を年3回と「はまぼう」という会報を年5回送っています。

……会費は？

1年更新で、会費は年2万円です。会員さんは名古屋や愛知、岐阜、遠い所では北海道の方もありますが、津市など県内の方もおられます。

……実際に南勢町を訪れる企画はあるのですか？

毎年、5月に開村式、11月に収穫祭を行っています。皆さんに楽しんでもらえるように、ハイキングや魚つかみなど毎回、趣向を凝らしています。基本的に収穫祭ではみかん狩りを行うので、食事をバーベキューにして、歌を歌ったり、何かを手作りしたり。毎回、地元のゲストをお迎えしてお話をうかがいます。スタッフの職種が電気屋さんもいれば、お坊さんもと様々なんです。だから、出てくるアイデアも奇想天外。みんなでマンネリにならないよう頭をひねっています。

……伊勢さんがふるさと会で、担当していることはありますか？

現在、101号まで出ている会報の編集をしています。創刊から平

成6年度まで別の方が担当していたのですが、引っ越されることになり、私が交代することになりました。

……発行部数は？

会員さんが約100組。それに加えて、町内で配達される新聞にも折り込んでいます。紙代や折り込み費用はかかりますが、印刷費用は100部でも、3000部でもそう大差はありません。それに印刷屋さんも「自分も本当はミニコミ誌を作りたいんだけど……その分、頑張ってください」と応援してくれています。

……内容は？

会員の方に南勢町の様子を知ってもらうために発行していますので、基本的には南勢町のことです。南勢町の人へのインタビューやイベント情報のほか、お祭りなどその時々の特ピックスなども掲載しています。この他に開村式や収穫祭の様子や、年度終わりのスタッフの反省会なども載せます。「マンネリでは」と書き込んだりすると、会員さんから「大丈夫だよ」って返事が来たりして、みんなで作っているという感じです。

……インタビューは、どんな方にお話を聞くのですか？

漁師さん、みかんづくりや炭焼きをされている方。地域起こしの会の代表など、人材は豊富ですよ。全体的には年輩の方が多いです。

……インタビューの苦労は？

農業など、同じ業種に就かれている方が多い場合は、お話を聞く方に勇気が必要になります。辞退される方もありますが、周囲から何か言われても自分は自分という心意気でお話いただけると、こちらもしっかり書かなくてはと思います。それにしても、いつもインタビューする側なので、インタビューされるって、どんな気分なのかなって、ずっと思っていたのです（笑）。

……反響のあった記事は？

五ヶ所湾の巡航船が廃止されることを載せた時は反響が大きかったです。観光汽船の会社の方や船長さんにお話を聞いたりしたのですが、廃止の情報は、はまぼう以外では取り上げられていなかったの、会員さんの中でも驚いた方が多くて、意見もドツきました。「海上タクシーにしてはどうか」「第三セクターで名乗りを上げる所はなかったのか」「事前に説明責任を果たす必要があるはず」とかね。都会の方が多かったので意見も手厳しい。

……地元の方の反応はいかがですか？

巡航船の時は、会員の方の意見を読んだ地元の方が、「自分たちはもう仕方がないと思っていたけど、あんな風に考えないといけないな」と刺激を受けてくれたようです。はまぼうが、都会と南勢町の橋渡しをしているんですね。地元の方のインタビューにしても「あの人は、そんなことをしてたの?」と言われることが多いです。意外に地元の方が、町内のことをご存知ないんです。

……取材に出かけることで伊勢さんの顔も知れ渡ったのでは？

お祭りなどの取材に行く「来てくれたの?」と声をかけてもらえますし、役得だなあって思っています。

……編集にかかる時間は？

あちこちでお話をうかがったり、イベントの情報を集めたり。1号作る



会報「はまぼう」



のに2週間くらいかかりますね。一応、パソコンで全部作ってから、手書きに直しています。大変ですけど、今手がけている20周年記念誌のことを考えれば、ラクだったなあって反省しました(苦笑)。

……記念誌を作っているのですか？

本当は去年が20周年だったんですが、1年遅れてしまいました。

はまぼうが、都会と南勢町の橋渡しをしているんですね。

……今後、ふるさとの会はどんな方向へ行くと思われますか？

県が開催した男女共同参画セミナーの総仕上げとして出かけたドイツでは、農家の女性を中心に、農家に長期民泊して農作業などを体験する企画が行われています。発起人はドイツの議員をされていましたが、この方が「30年経ったら、田舎にふるさとを持たない人が多くなる。そんな人たちのために、ふるさとを提供しようと思って、この企画を始めた」とおっしゃっていました。実際にはドイツでは同じ人が毎年、同じ民家に泊まりに来て、その内に子どもが増えて…と、本当にふるさとへ帰るような気分を味わっています。血が繋がってなくても、関係ない。この発想は凄いですか？私、南勢町も同じだと思うんです。若い人が都会へ出て行く。自分の親が存命中は田舎へ帰って来られ、亡くなって、次の代になると気兼ねもあって帰ってきにくい。そんな人たちが孫を持つ年になると、その孫にとってのふるさとは都会にある家なんですね。ふるさとの会は、独自の宿泊施設は持っていませんが、同じような考えからそれを20年以上前から続けています。この会を始めた人たちの発想は本当にすごい！ふるさとの会の会員さんには南勢町を第二のふるさとをおっしゃる方が多いですし、実際に別荘を建てられた方も何組かあります。スタッフみんなでふるさとの会を支えているわけですが、軸になる中島さんのような方がいなければ、どんな会も続いていかないと思います。

市民活動ってなんだろう…!?

……ふるさとの会以外の活動は？

南勢町市民活動室の会計をしています。南勢町市民活動室は南勢町民文化会館の管理と、町内の市民活動やボランティア活動のサポートをしているところです。ふるさとの会も登録していますが、全体で20～30組の団体が登録して利用しています。

……今後、活動を広げる予定は？

南勢町民文化会館の企画なども任せてもらえれば…と思っていますが、現時点では南勢町市民活動室にそれを引き受ける力があるか…。数年前までは、企画も任せてもらおうという元気がありました。最近ちょっと、みんなの熱意が下がってしまいましたね。私たちだけでなく、町全体に元気がなくなっているように思います。

……それは行政も含めてですか？

もちろんです。それに、私から見ると、行政のやることがチグハグに思えますね。他の町の方と結び付けてくれる力は行政ならではの、必要だと思いますが、市民グループや個人を無いがしろにしているように感じることもあります。

……そう感じる直接的な原因は？

数年前に始まった大きなお祭りがあるのですが、その立ち上げに実行委員として参加したことが大きいですね。私、みんなが集まって新しいものを作る時には、全員が情報を共有することが大切。各パートで作業していても、その成果を持ち寄って、みんなで考える。

でも、残念ながら情報を独占してしまう人が結構、いるんですね。例えば、会議に皆出席したとしても、会議以外のところで、一部の人が大切なことを決めてしまう。その人たちに言わせると「みんなで話していたら時間がかかるし、前に進まない」ということらしいのですが、それは間違っていると思います。例え、概念のところで話が停滞していたとしても、きちんと話し合ってみんなの気持ちがまとまれば、その後の進行は早くなるもの。それに、そんな進行をしていたら、きちんと物事が見えている人は辞めていきますよ。何か企画する時、市民グループに声はかかるけれど、大筋は初めから決まっている。体験的にそれがわかってしまって、町内での活動に失望してしまいました。それと同じ頃に、県で開催された男女共同参画セミナーに参加する機会に恵まれました。

……前回の前田さんとはそのセミナーで知り合われたそうですね。

はい。このセミナーでは終了時にメンバー一人ひとりが書いた提言書を冊子にまとめました。私はこれを南勢町の町長をはじめ、町役場の課長さんたちにも配りました。今から4年ほど前のことです。

……伊勢さんはどんな提言を？

わらそうり作りや農作業、魚釣りに野鳥の観察など、南勢町でできる様々な体験を滞在型で楽しめる態勢を整えることです。1年間のメニューを作って、PRすれば数人のグループから修学旅行まで利用できるし、リピーターもできると考えました。実は去年、同じようなアイデアをカタチにした、体験型集客交流センター「きらりふれあいの会」というのが南勢町にできました。

……それは伊勢さんの提言が取り上げられたのですか？

それが違うんです。私は、それができることを新聞で知って、驚いて役場に聞きにいったくらい。でも偶然、私と同じようなアイデアが出てきたとしても、提言書を読んで、内容を覚えてくれている人がいたら、一声かけてくれればいいのになって思いました。

……お互いにアイデアを出せば、内容も広がるでしょうね。

私は私なりに、いろいろ調べていたので、そういった資料も共有できるしね。この他にもいろいろあって、私は今、市民活動に懐疑的になっているんです。ボランティアとは自主性だとか、いろいろと議論されていますが、本当のボランティアって何だろうって考えれば考えるほどわからなくなってきて。市民活動、ボランティアという名前がつけられる前からコツコツと活動されてきた方もいるでしょう？

……掃除のボランティアなど、前からされている方はいますからね。

ボランティア精神が無いとできないことはたくさんありますし、市民活動とボランティアを切り離して取り上げることに違和感があります。定義する必要は無いのかもしれませんが…。それもあって、今はふるさとの会に専念しています。町内の活動に限界を感じて、県の活動にも出かけていきましたが、結局は同じなんじゃないかと思ったんです。だったら、ふるさとの会の活動にギュッと力を注いで、続けて行こうって、今は思っています。

五ヶ所湾ふるさとの会 事務局

住所／516-0101 度会郡南勢町五ヶ所浦 グリーン・グリーン内
Tel.&Fax.0599-66-1720 E-mail libre@amigo2.ne.jp
ホームページ <http://amigo2.ne.jp/~kazisei5/>

伊勢直世さんはこの人を紹介します。

野田昌巧さん

農業を通して、まちおこしを手がけている野田さん。美しい景観を未来に残すために、荒れ地の整備などもされています。



魚つかみの準備。イベント時にダンスを楽しむこともあります。



お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpa@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。